

NSR250R(K) 追補

ユニット カブラ部で測定したピーク電圧が異常な場合は、パルス ジェネレータ 6 P カブラの接続を外す。

アダプタを接続して同じ要領で、再度パルス ジェネレータ ピーク電圧を測定し、ユニット カブラ部で測定したピーク電圧と比較する。

接続方法

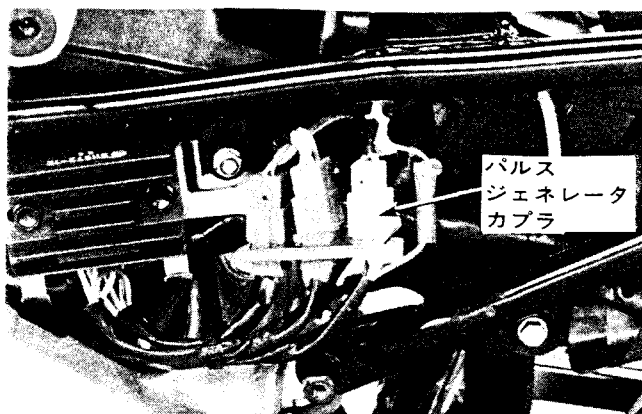
No.1 ⊕ 白/黄-黄 ⊖ 間

No.2 ⊕ 白/青-青 ⊖ 間

ピーク電圧：2 V以上

ユニット側で測定した値が異常で、パルス ジェネレータ側で測定した電圧が正常な場合、カブラの接触不良か、ワイヤハーネスの断線である。

両方が共に異常な場合、パルス ジェネレータの異常が考えられる。故障診断表（⇒22-20）を参照して各項目を点検する。



スロットル センサの点検

メインスイッチをOFFにする。

シート カウルを取り外す。

エンジン コントロール ユニットの16Pと4 P カブラを外し、ハーネス側のカブラの端子間で下記の点検を行う。

16P カブラの青/緑と黄/赤間の抵抗値を測定する。

標準抵抗値（20℃）：4 - 6 kΩ

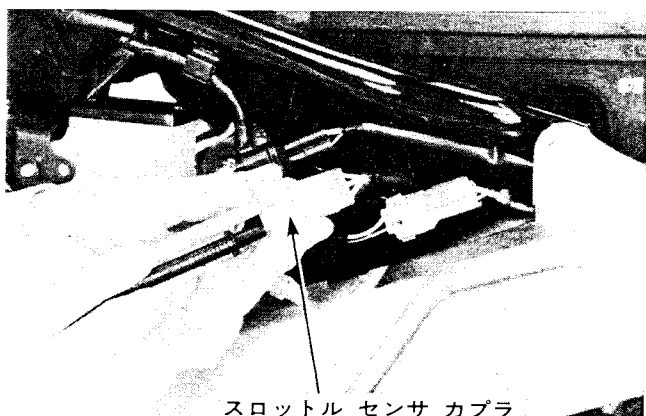
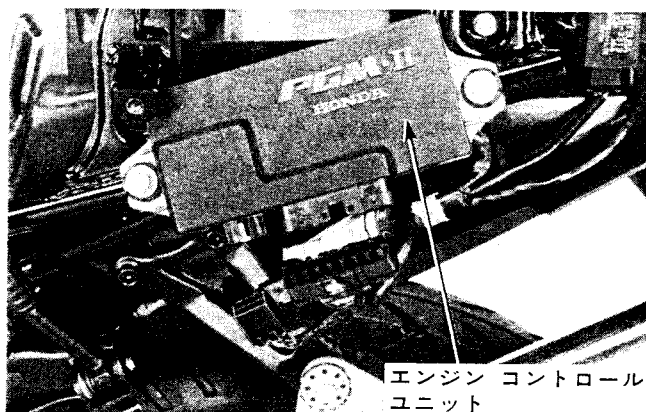
スロットルを全閉から全開にした時、黄/青と青/緑間の抵抗値を測定し、除々に抵抗値が上昇すれば正常である。

標準抵抗値（20℃）：全閉：0 - 1.5 kΩ（スロットル ストップ スクリューを完全にゆるめること）
全開：4 - 6 kΩ

測定値が大きく異なる時は、スロットル センサ 3 P カブラの接続を外し、センサ側のカブラの端子間で再度、上記の点検を行う。

測定値が標準抵抗値内にあればワイヤ ハーネスを修正、又は交換する。

測定値が標準抵抗値より大きく異なる時は、スロットル センサとセンサ ステイ Assy.、ジョイント、スロットル シャフト、スロットル リンク アームをセットで交換する。



エンジン コントロール ユニットの点検

エンジン コントロール ユニットの入力電圧点検

メイン スwitchをOFFにする。

シート カウルを取外す。

エンジン コントロール ユニットの16Pと4Pカブラを外す。

メイン スwitchをON、キル スwitchをRUNにする。

16Pカブラのハーネス側カブラ、黒/白端子にバッテリー電圧があることを点検する。バッテリー電圧があれば正常である。

接続方法

⊕ 16P カブラ 黒/白-ボディ アース ⊖

標準電圧：バッテリー電圧

バッテリー電圧が得られない場合、メイン スwitch、キル スwitch、ヒューズ、ワイヤ ハーネスを点検する。

